

真狩村社会福祉協議会
真狩村共同募金委員会

★広報誌★

むつみ

89号

2014.10.17
発行



～サロン活動～
★食プロ農園クラブ活動状況★

保健福祉センターの裏庭に農園を作り、地域に住む障害を抱えて生活をしている方が活動できる場として、H26年度から農園作業を行っています。



★この広報誌は共同募金の助成で制作をしております★

◎発行者

真狩村社会福祉協議会

住所：虻田郡真狩村字真狩17番地

電話：0136(45)3105

ピエロパフォーマンスで 会場ボルテージ最高潮!!

今年も大盛況

第

18

回

ふれあいの集い



今年は七月二五日に保
 健福祉センターにおいて
 「ふれあいの集い」が開
 催されました。当日はた
 くさんの方々にボランティア

ボランティアにご協力頂いた皆様ありがとうございました

アのご協力を頂き、無事
 に盛大に開催することが
 でき、子供からお年寄り
 まで約三二〇名の方々が
 来場しました。ふれあいが

の集いを通して、様々な
 世代が交流を深めながら
 繋がりをもち、少しでも
 地域が元気でいられるこ
 とをご期待申し上げま

イベントも盛りだくさん!!

子供会・カイダイ
 おちのき・木地蔵会
 ビエロシヨ



三二回が大好評!!

写真特集



シルバークフェスティバル開催



今年も70歳以上の高齢者を対象にシルバークフェスティバル（高齢者レクレーション）が保健福祉センターを会場に開催されました。毎年、参加者も増えており、今年は約66名の方々にご参加をいただきました。

シルバークフェスティバルは高齢者の親睦と健康の維持増進を図ることを目的として行っています。

当日は参加者全員で簡単なゲームやビンゴ大会をしたり、昼食を参加者全員で食べたりと楽しい一日を過ごしておりました。昼食は毎年、真狩村日赤奉仕団の皆様方にボランティアで作ってもらっております。今年は好評の『豚汁』を作ってもらいました。参加された皆様からも「とても美味しい」と大好評でした。



①おふくろの味がする
豚汁
②愛情のこもった
おにぎり



昼食メニュー



9/26保健福祉センター会場にて行われました!!

福祉活動のこれまでの功績に！

～各福祉分野の表彰がありました～

★ 後志社会福祉協議会長表彰 ★

《 8月22日開催 第68回 後志社会福祉大会において 》

● 表彰者（4名）

・武田 武志（光） ・岡根 富士雄（豊川）
・影山 信幸（加野） ・仁司 忠志（真狩）

★ 全道社会福祉協議会長表彰 ★

《 9月5日開催 第64回 全道社会福祉大会において 》

● 表彰者（1名）

・森本 繁隆（真狩）

★ 全道共同募金会長表彰 ★

《 9月5日開催 第64回 全道社会福祉大会において 》

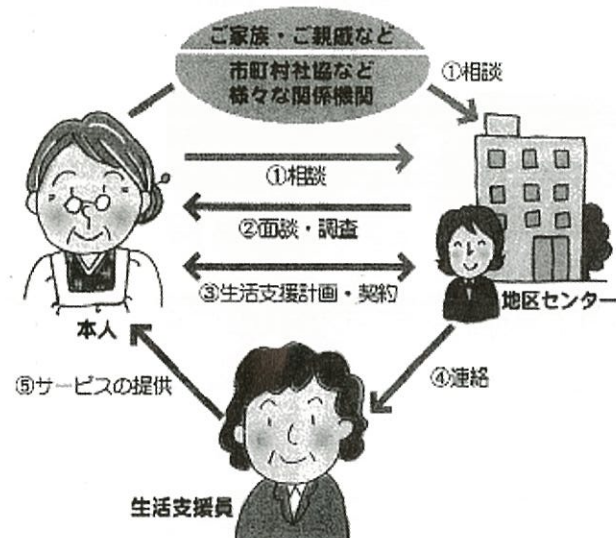
● 表彰者（4名）

・武田 武志（光） ・岡根 富士雄（豊川）
・影山 信幸（加野） ・仁司 忠志（真狩）

安心して自立した生活が送れるように支援する 3種類のサービスを進める日常生活自立支援事業

真狩村社協では成年後見制度の狭間を埋める事業として、北海道社会福祉協議会からの委託を受け、日常生活自立支援事業を、今年4月から実施しております。この事業は、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方が安心して生活が送れるように、支援することを目的としております。今後、高齢化が進行し、判断の能力に不安のある方が増加することが予想され、また、高齢者だけではなく、知的・精神障がいを持ち判断能力が不十分な方にとっては、虐待、詐欺、悪徳商法などが深刻な社会問題となっているなか、日常の生活において権利を擁護する必要があり、地域の民生委員等と連携しながら、相談や活用につなげるための活動をしていきます。

○サービスのしくみ



●サービスの種類は

福祉サービスについての情報提供や利用手続きのお手伝いを行う「福祉サービス利用援助」、公共料金の支払い、年金受給の確認、生活費の払戻しを行う「日常的金銭管理サービス」、定期預金通帳や年金証書などの大切な書類等を預かる「書類等の預かりサービス」の3種類です。

●サービスのしくみは

利用希望者が、社協の自立生活支援相談員に相談します。相談を受けた自立生活支援相談員が本人宅を訪問し、本人の日常生活の状況、家族及び親族状況の関係等状況、生活に要する金銭状況等を聞き、本人と提供するサービスの内容を話し合い、生活支援計画を立て、契約を結びます。

契約を結んだ後は、生活支援員に支援内容等の詳細を連絡し、生活支援員がサービスを提供します。（図参照）契約締結から3か月毎に、サービスの実施状況を確認し、今後も契約内容を継続していくのか評価を行うモニタリングを行います。

●サービスの費用は

相談は無料、生活支援員が行う3種類のサービスは有料となります。金額は、1回1時間あたり1,200円です。また、生活支援員が移動の際に自家用車を使用した場合は300円、公共交通機関を利用した場合は、運賃等の実費分が別にかかります。

●サービスを行う構成員

- 生活支援員 2名＜長船 佳代（社協職員）・近井 直子（社協職員）＞
- 自立生活支援専門員 1名＜長船 敏也（社協職員）＞
- 指揮監督者 1名＜木村 信雄（社協事務局長）＞ です。

●問い合わせ先

真狩村社会福祉協議会

住所：真狩村字真狩17番地 保健福祉センター内 電話：01360-45-3105

今年も赤い羽根共同募金にあたたかいご支援をお願いいたします。

《募集期間》 平成26年10月1日～12月31日

今年も全国一斉に共同募金運動が始まります。真狩村ではこの運動で集められた募金は、町内の地域福祉に役立てられております。今年も多くの皆さまのご支援・ご協力を心よりお願い致します。

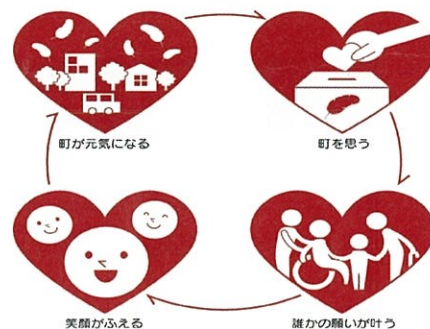


赤い羽根共同募金とは？



赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」です。

赤い羽根共同募金は、1947(昭和22)年に「国民たすけあい運動」として行なわれたのがはじまりです。以後毎年10月からスタートする共同募金運動は、「地域福祉の推進」を目的として、今も続く歴史の長い募金活動です。現代は少子高齢化が進む中、高齢者、障がい者、子どもたちへの福祉活動のほか、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられています。一人ひとりの町を思うやさしさが、地域で暮らす人々のつながりを強くし、輪となり広がっています。



地域で集めた募金は集めた地域で使われています。

都道府県内で集められた募金は、その都道府県内の福祉活動に役立てられています。たとえば、一人暮らしの高齢者を地域で見守る活動や、障がい者が働く事業所への支援、福祉施設への車両整備のほか、福祉活動の担い手となるボランティアの育成や子どもたちへの福祉教育など、みなさんの住んでいる市町村内での福祉活動をはじめ、より広域的な課題を解決するための都道府県域の活動に役立てられています。



真狩村共同募金委員会

新しい顔ぶれ決まる！
～任期満了に伴う新役員の選任～

★理事（執行機関）6名
・会長 福田 恵子
・副会長 大平 雅彦
・理事 金丸 勝男
三浦 武也
板敷 昭吉
田村 美信

★監事（監査機関）2名
・監事 本間 豊盛
藤川 昭憲

★評議員（議決機関）14名
・評議員 原田 秀雄
武田 武志
岡根 士雄
影山 幸雄
村上 孝寿
仁司 志隆
森本 繁雄
小井 幸雄
今井 磯雄
西村 久雄
武田 信男
山崎 秀一
徳田 修
小野塚 真理子

共同募金委員会の運営にあたる理事・監事・評議員の任期満了に伴い、平成26年3月から新役員が選任されました。

真狩村肺炎球菌ワクチン 接種費用の助成事業廃止のお知らせ

真狩村社会福祉協議会では、村内に住む65歳以上の方を対象に肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を平成23年6月から取組んでまいりましたが、平成26年10月1からは、真狩村で、新たに「真狩村高齢者の肺炎球菌感染予防接種」を実施することとなっております。それに伴ない、今まで真狩村社会福祉協議会で行っていた肺炎球菌ワクチン接種費用の助成事業は平成26年9月30日をもって廃止することとなりましたのでお知らせいたします。今後肺炎球菌ワクチンの接種の助成に関しましては真狩村で行う予防接種をご利用頂きますようお願い致します。

あたたかい善意のご寄附ありがとうございます

寄 付 月 日	氏 名	住 所	寄 付 内 容
平成26年7月15日	高橋 陽子 様	真狩村字真狩	夫が生前お世話になったお礼として
平成26年8月26日	深津 幸男 様	真狩村字真狩	妻が生前お世話になったお礼として
【 平成26年5月1日～平成26年9月30日までの期間 】			

お詫び申し上げます。。

前回の広報88号の5ページで掲載しました、社会福祉協議会の新役員紹介のコーナーにおいて訂正箇所がございました。訂正内容については、「評議員の森本繁隆様を森本繁雄と記載してしまい、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

寄付を頂いたお金は、地域の福祉活動の様々な事業の資金として、有効にご活用させていただきます。
ご厚志ありがとうございました。

☆☆☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆☆☆

暑い夏の日、早く涼しくならないかなと言い、冬は雪かきしながら早く暖かくなりたいかなと言い、本当に自分は勝手な奴だなと思います。

安否確認の訪問先で、ある方が『これ（冬）が来ないと、春も来ないからねえ』と仰っていました。当然と言えば当然のことなのですが、僕にとっては、とても心に残る優しい気持ちになる言葉でした。

人生の先輩からいろいろなことを学び、温かい気持ちをもらい、今日もこんなに元気です。

（編集室）

